

増えています。



梅毒

って病気を知ってますか？

セックスでうつる病気です。フェラチオやキスでもうつることがあります。
(梅毒トレポネーマという細菌が原因です)

感染3週間後、唇に「**くぼみ**」ができてきました。



感染3か月後、お腹や全身の皮膚に痛くも痒くもない「**ピンク色の発疹**」が出てきました。



梅毒の症状は「**性器**」に多く現れます。セックスをしてから3～4週間ぐらいで「**しこり**」「**くぼみ**」ができたなら、診察を受けましょう。



梅毒は「偽装の達人」とも呼ばれ、微熱程度の軽い症状だけであつたり、症状がないこともあります。**血液検査**を受けなければわかりません。

感染3か月後、手のひらに痛くも痒くもない「**カサカサした斑点**」が出てきました。放っておいても消えますが、病気がすすんでいきます。

性感染症の予防には
コンドームの着用が
不可欠ですが、
それだけでは梅毒は
防げないことがあります。



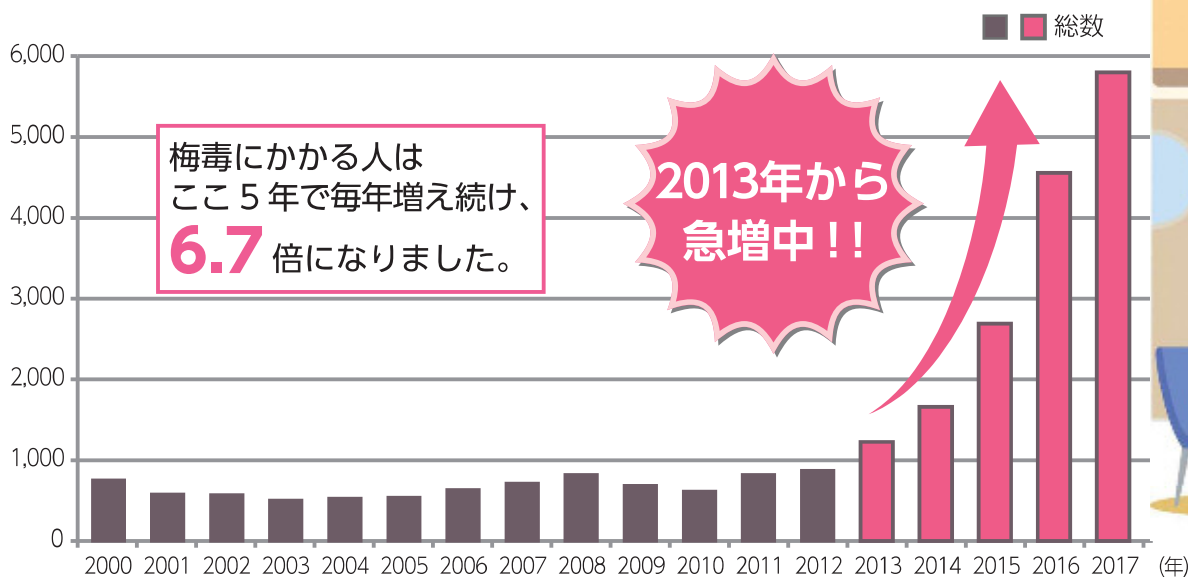
「診断には簡単な血液検査が必要です」

「梅毒血清反応検査(梅毒抗体検査)」といいます。症状があってもなくても保健所で無料で相談・検査が受けられます。検査は少量の血液を採取するだけです。

梅毒は、診断を受けて抗生物質を正しく服用すれば治すことができます。治療は皮膚科、泌尿器科、産婦人科などで受けられます。

梅毒と同じ時期に性器ヘルペス・HIV感染症などの病気になることもあります。これらも薬で治療できます。

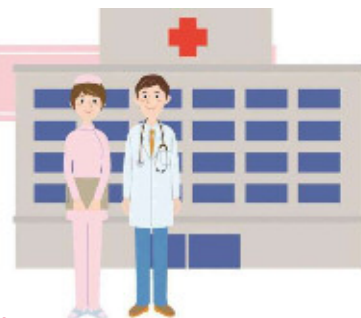
感染症法届け出による梅毒報告数の推移 2000-2017年



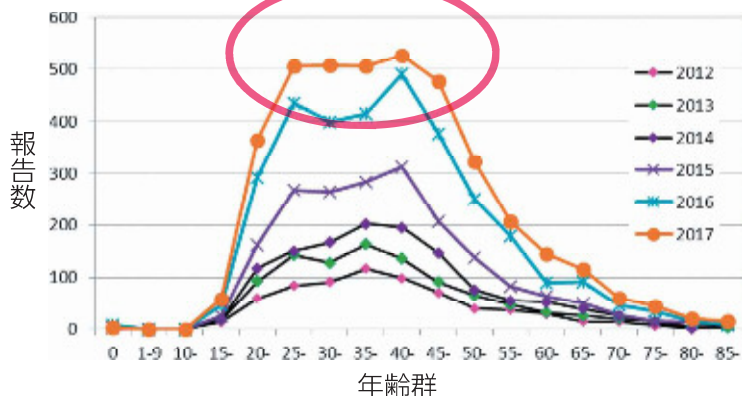
国立感染症研究所報告より引用

梅毒：年齢群別報告数 2012-2017年

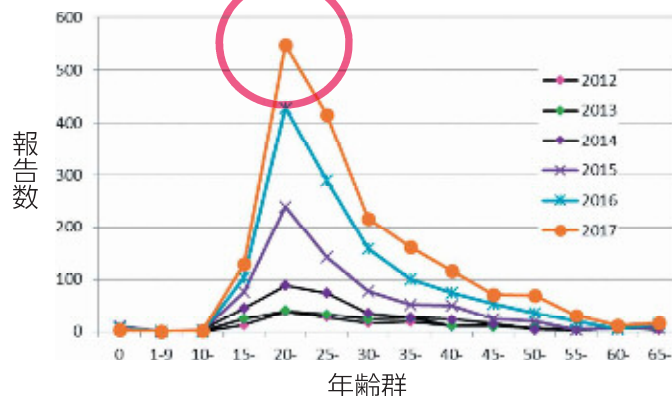
最も多くみられるのは男性では20~40歳、女性では20~24歳ですが、男女ともに15~20歳からみられています。



男性 20-40歳代



女性 20-24歳ピーク



国立感染症研究所報告より引用

1. 梅毒は、「遊んでる人」だけが、かかるわけではありません。
2. 自分は初めてのセックス（エッチ）でも、相手は初めてではないかもしれないし、病気になっているかどうかは見た目ではわからないことも多いのです。
3. 心配だったら、感染しているかどうか血液検査をして確かめましょう。
4. 裏面写真のような症状が無くても、感染していることがわかったら、治療しましょう。
5. 妊娠中に梅毒にかかって治療しないでいると、赤ちゃんにもうつることがあります。